



# Business Literacy

知的財産権の基礎知識

東京デザインテクノロジーセンター専門学校 講師 石川敢也

# Intellectual Property Rights

---

## ▶ 知的財産権の基礎知識

- ▶ 形のない財産に関する権利。著作権、特許権、商標権、実用新案権、意匠権などの総称

## ▶ 内容

- ▶ 著作権、産業財産権
- ▶ 不正競争防止法
- ▶ 不正アクセス禁止法
- ▶ 特定商取引法
- ▶ システム管理基準
- ▶ ISO、IEC、JIS



# 著作権

---

## ▶ 著作権

- ▶ 著作物を作った人に認められる知的財産権。
- ▶ 著作物とは、思想または感情を文章や音、絵などで、創造的に表現したもの。

## ▶ 著作者人格権

- ▶ 自身の著作物について有する人格的利益を守る権利。

## ▶ 著作財産権

- ▶ 著作者の財産的な利益を保護する著作権。
- ▶ 複製権、翻訳権、上映権、演奏権、放送権や二次著作物の利用権などがある。譲渡や相続ができる。

# 著作権法

---

## ▶ 著作権法

- ▶ 知的財産としての権利の帰属を規定している法律。
- ▶ 原稿がない即興の講演や楽譜のない演奏であっても、著作権は、講演者に帰属する。
- ▶ 法人の発意に基づき、その法人の従業員が職務上作成するプログラムの著作権は、別段の定めがない限り、その法人が著作権者となる。

– Wikipediaより引用・抜粋・編集

---



# 産業財産権

---

## ▶ 産業財産権

- ▶ 知的財産権のうち、新しい技術、新しいデザイン、ネーミングなどについて独占権を与え、模倣防止のために保護したり、取引上の信用を維持したりするための4つの権利。
- ▶ これらの権利は、特許庁に申請して登録されることで、独占的に使える権利が認められる。

# 特許権／実用新案権

---

## ▶ 特許権

- ▶ 自然法則を利用した技術的思想に基づいた発明の権利を保護する産業財産権。
- ▶ コンピュータを活用して新しいビジネスモデルを構築した場合などに、ビジネスモデル特許として認められる場合もある。

## ▶ 実用新案権

- ▶ 製品によって実現されたアイデアなどの権利を保護する産業財産権。

# 商標権／意匠権

---

## ▶ 商標権

- ▶ 文字や図形、記号、立体的形状などで表した商品のマークなどの権利を保護する産業財産権。

## ▶ 意匠権

- ▶ 物の形状や模様、色彩などで表した商品のデザイン、製品を収納するパッケージのデザインなどの権利を保護する産業財産権。

## ▶ クロスマイセンス

- ▶ 特許の権利者同士がそれぞれの所有する権利に関して、相互にその使用を許諾すること。

# 不正競争防止法

---

## ▶ 不正競争防止法

- ▶ 営業秘密を保護する法律。
- ▶ 他社に損害を与える目的で、他社のサービス名と類似したドメイン名を取得して使用するような行為を禁止している。
- ▶ 不正な競争を規制するという方法(行為規制)により、知的財産の保護を図る。
- ▶ 「景品表示法(不当景品類及び不当表示防止法)」も、同様の目的から、商品や役務についての不当な表示等を禁止している。
- ▶ 不当な取引制限等の自由競争を制限する「独占禁止法」と同様に、競争秩序の維持を図る法律である。



# 不正アクセス禁止法／特定商取引法

---

## ▶ 不正アクセス禁止法

- ▶ パスワードを使って保護されているサーバに、ネットワーク経由で他人の ID とパスワードを使ってログインすることなどを禁じている法律。
- ▶ 実際に被害が発生しなくても、不正アクセス行為をするだけで違反となる。



## ▶ 特定商取引法

- ▶ 訪問販売や通信販売などのトラブルが生じやすい取引において、消費者を保護するために、事業者が守るべきルールを定めた法律。

# Product Liability

---

## ▶ 労働基準法

- ▶ 従業員の賃金や就業時間、休暇などに関する最低基準を規定めた法律。

## ▶ 製造物責任法(PL法)

- ▶ 正しい使い方をしていても消費者に危険がある製品を製造・販売をした者の責任を問い被害者を保護することを目的とした法律。

# 公益通報者保護法

---

## ▶ 公益通報者保護法

- ▶ 国民生活の安心や安全を損なうような企業の法令違反行為の事実を、労働者が同法で定められた通報先に通報した場合、その労働者は同法によって解雇などの不利益を受けないよう保護される法律。



# System Management Standards

---

## ▶ システム管理基準

- ▶ 経営戦略に沿って効果的な情報システム戦略を立案し、その戦略に基づき、効果的な情報システム投資のための、またリスクを低減するためのコントロールを適切に整備・運用するための実践規範。
  - ▶ 情報システムが、経営方針及び戦略目標の実現に貢献
  - ▶ 組織体の目的を実現するように安全、有効かつ効率的に機能
  - ▶ 内部又は外部に報告する情報の信頼性を保つように機能
  - ▶ 関連法令、契約又は内部規程等に準拠する



# Corporate Governance

---

- ▶ コーポレートガバナンス
  - ▶ 企業の目的に適合した経営が行われるように、経営を統治する仕組みのこと。
- ▶ コンプライアンス経営
  - ▶ 企業倫理に基づき、ルール、マニュアル、チェックシステムなどを整備し、法令や社会規範を遵守(じゅんしゅ)した企業活動を行うこと。
- ▶ ディスクロージャ
  - ▶ 投資家やアナリストに対して、投資判断に必要な正確な経営情報を適時に、かつ継続して提供すること。

# International Organization for Standardization

---

- ▶ ISO (International Organization for Standardization)

- ▶ 工業や科学技術に関して、国際標準化機構が定めた規格。



- ▶ JIS (Japanese Industrial Standards)

- ▶ ISO など国際的な規格との整合性に配慮し、鋳工業の分野ごとに製品の種類・形状・構造などに関して日本工業規格として定めた規格。

- ▶ IEC (International Electrotechnical Commission)

- ▶ 電気工学、電子工学、および関連した技術を扱う国際電気標準会議が定めた規格。

# JIS Q 9001 / ISO 9001

---

## ▶ JIS Q 9001 / ISO 9001

- ▶ 品質に関するマネジメントシステムの規格。
- ▶ 品質とは「本来備わっている特性の集まりが要求事項を満たす程度」と定義されている。

## ▶ JIS Q 14001 / ISO 14001

- ▶ 環境マネジメントシステムの規格

## ▶ JIS Q 27001 / ISO・IEC 27001

- ▶ 情報セキュリティマネジメントシステムの規格。



---

お疲れさまでした！

